

5125 **くらく**久楽の世界の旅：旅の楽しみ方の一つは、旅記録

当初、スケッチや、絵が描ければと、思ったこともある。
何しろ始めたのが、**アフター、フィフティ**。その後、思わぬ展開の人生になったが、
何しろ、凝り性で、負けず嫌い。ハンパなしの、画像記録の失敗。
その後の、**和紙夢絵**。これに至っては、いささか**クレージーなほどのこだわり**。
その都度、原因を追求。失敗は当然。最初は、誰でも初心者。始めなければ始まらないと、
我が身に、そう言い続けて、今日があり、夢挑戦継続中。**話を元に戻して。**



地ビール、サラダから始まって、オススメの料理も味わった。
別の日には、赤ワインにあう料理。実に、贅沢な時間を、持たせてもらった。

それと同時に、突然、**世界の旅の兼高かおる**さんのことが思い浮かんだ。

ご著書に、**人生三分割。学んで、尽くして、あとは自由に。**

「世界の旅」は、人生の学校だったと。

東京お台場、ホテル日航での個展開催時のオープニングレセプションには、主賓として
出席していただいた。感激。今でも、心の財産。

その以前も、その後も、いろいろ教えていただいた。

久楽には、**特別な**スポンサーは、いなかったが、そのおかげで、自由行動ができた。

しかし、いろいろサポートしていただいたおかげで、今日がある。

今、ご著書を読み返し、反省しているところ。出来ることしか、出来ないが、頑張りたい。



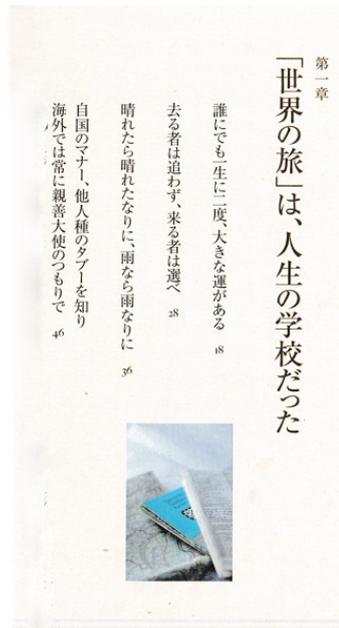
兼高かおる
わたくしが
旅から
学んだこと

80過ぎても「世界の旅」
は継続中ですのよ!

旅は
女の人生を
輝かせる

旅を通じて見えてきた世界、そして日本
これからの若い世代に伝えておきたいこと

小学館 定価1,575円 [本体1,500円]



第一章
「世界の旅」は、人生の学校だった

誰にでも「生」に二度、大きな運がある 18

去る者は追わず、来る者は遅へ 28

晴れたら晴れたなりに、雨なら雨なりに 36

自国のマナー、他人種のマナーを知り
海外では常に親善大使のつもりで 46

人生三分割。
学んで、尽くして、あとは自由に

世界を巡る旅は、まるでエンドレスの映画を観
ているよう。

時代のうねりの中で、国も人も絶え間なく変わ
つていき、スピードの差こそあれ、その変化はと
どまることを知らない。

だから、旅は飽きることがなく、その終わるこ
とのない映画をわたくしは観続けたいと思う。

1928年(昭和3年)、わたくしは神戸で生まれ
ました。